

第 11 回茅ヶ崎市総合計画策定会議幹事会での主な意見

【1】各政策目標における指標の目標数値について

○下水道施設については、既に整備率、水洗化普及率ともに 100%に近く、ほぼ事業が完了している状態が現状値であることから、向上させていくには限界がある。見直しのタイミング等で数値も柔軟に見直すことを検討してもらいたい。

○政策目標 1 の②と③の指標について、据え置きとなっていないのはなぜか。

→ 政策目標 1 の②と③は、満足ではなく、児童生徒の自己肯定感を指標としており、その性質上、中間値も据え置きではなく上げていく指標としている。

○幹事会の意見としては、「予算が直結するような項目については『基準より下げる』若しくは『現状維持』とするべき」ということを附して策定会議での判断を仰ぐこととする。

【2】その他

特になし